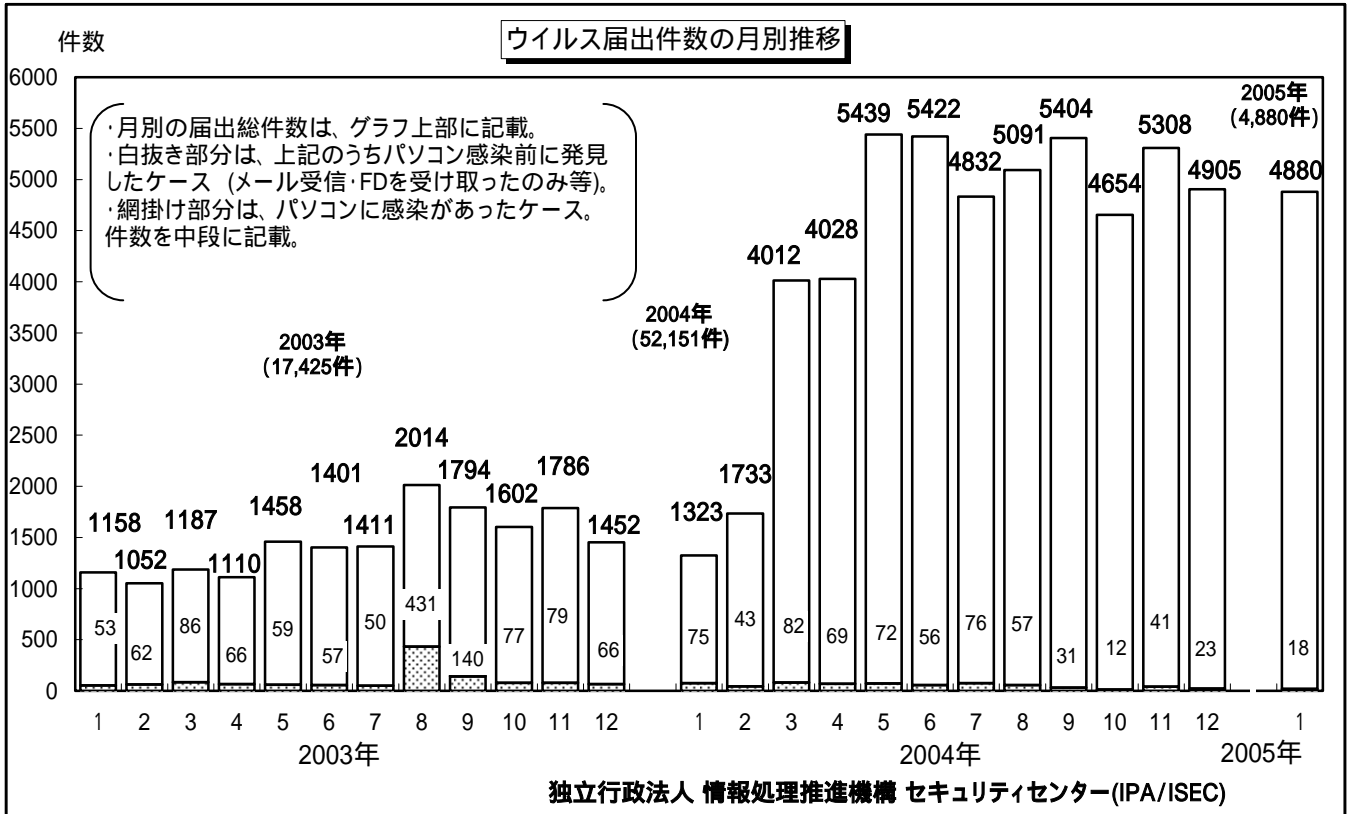


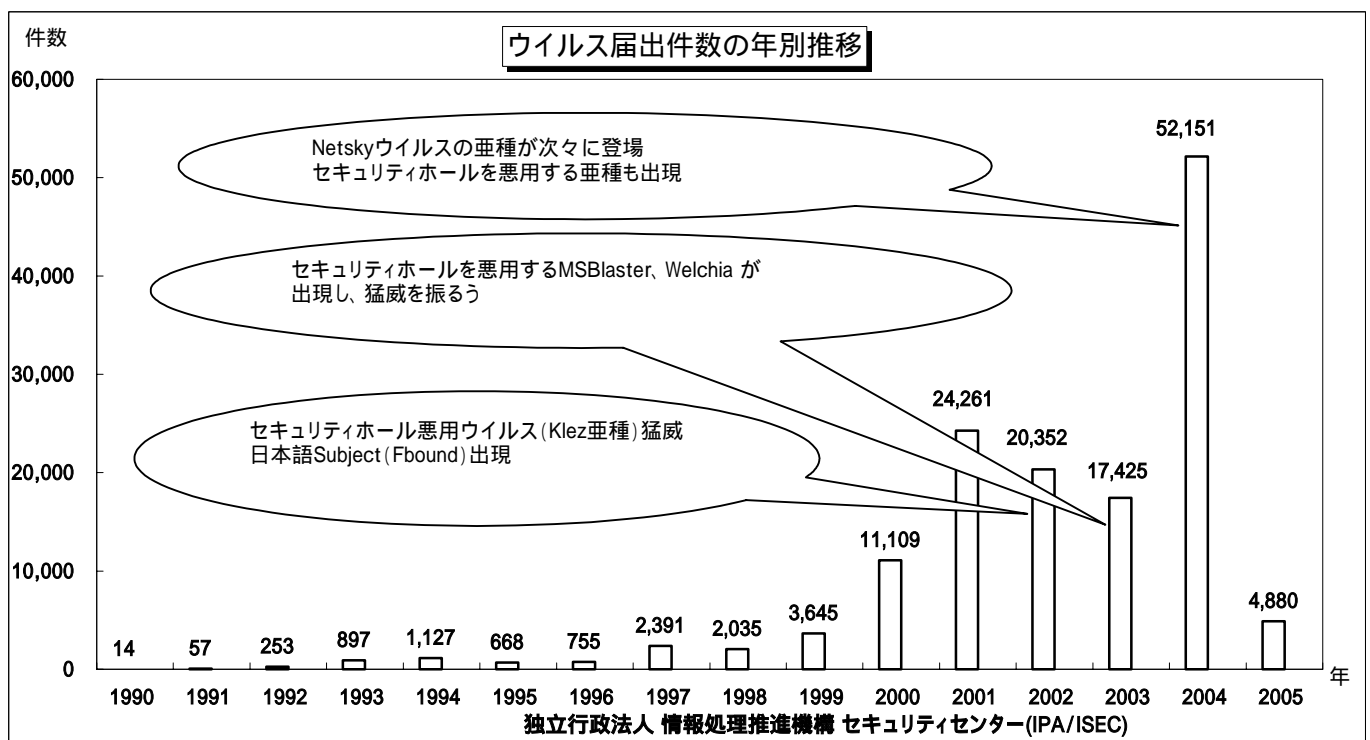
コンピュータウイルスの届出状況について [詳細]

・ウイルス届出の詳細

1. ウイルス届出件数の月別推移



2. ウイルス届出件数の年別推移



3. 1月の届出ウイルス

ウイルスの種類は 87 種類で、Windows/DOS ウィルス 4,753 件、マクロウイルス及びスクリプトウイルス 121 件、OSS のウイルス 6 件でした。

i) Windows

()印は今月の新種ウイルス

Windows/DOS ウィルス	届出件数	Windows/DOS ウィルス	届出件数
W32/Netsky	1,179	W32/Gibe	1
W32/Mydoom	348	W32/Inor	1
W32/Bagle	334	W32/Maslan ()	1
W32/Lovgate	263	W32/Mofei	1
W32/Klez	257	W32/MSBlaster	1
W32/Zafi	248	W32/Navidad	1
W32/Bagz	234	W32/Opaserv	1
W32/Sober	214	W32/Purol ()	1
W32/Mabutu	181	W32/Sasser	1
W32/Bugbear	132	W32/Ska	1
W32/Funlove	132	W32/Stator ()	1
W32/Mimail	129	W32/Winur	1
W32/Mywife	100	W32/SQLSlammer	1
W32/Swen	94	小計	4,753
W32/Valla	87		
W32/Fizzer	84	マクロウイルス	届出件数
W32/Yaha	77	XM/Laroux	14
W32/Dumaru	73	XF/Sic	5
W32/Mota	70	WM/Cap	1
W32/Parite	53	W97M/Class	1
W32/Mumu	47	W97M/Supil	1
W32/Hybris	46	X97M/Divi	1
W32/Spaces	35	小計	23
W32/Kriz	34		
W32/Bofra	31	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Sobig	28	VBS/Redlof	77
W32/Badtrans	22	VBS/LOVELETTER	10
W32/Buchon	22	Wscript/Fortnight	3
W32/Welchia	18	VBS/Internal	2
W32/Magistr	16	VBS/Netlog	2
W32/Tenrobot	15	VBS/Soraci	2
W32/Plexus	14	VBS/Freelink	1
W32/Lovelorn	13	VBS/Haptime	1
WYX	12	小計	98
W32/Korgo	9		
W32/Nimda	9	ii)Macintosh	
W32/Chir	8	なし	
W32/Gaobot	8		
W32/Ganda	7	iii)OSS (OpenSourceSoftware) UNIX	
W32/Wukill	7	Perl/Santy	3
W32/Mugly	6	FreeBSD/Scalper	1
W32/Torvil	6	Linux/Lion	1
W32/CIH	5	Perl/Lexac ()	1
W32/Bobax	4	小計	6
W32/Tecata	4		
Anti-CMOS	3	(参考)	
Form	3	Windows/DOS ウィルス	
W32/Antinny	3	Windows、MS-DOS 環境下で動作するウイルス。	
W32/MTX	3	マクロウイルス	
W32/Rotor ()	3	MS-WORD や MS-EXCEL などのマクロ機能を	
W32/Evaman	2	悪用するウイルス。	
W32/Explet	2	スクリプトウイルス	
W32/Randex	2	機械語への変換作業を省略して実行できるよう	
W32/Sircam	2	にした簡易プログラムで記述されたウイルス。	
Cascade	1		
W32/Anzae ()	1		

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
WM	MSWORD95、97 (WordMacro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)
XF	MSEXCEL95、97 で動作するウイルス。(ExcelFormula の略)
Linux	Linux 環境下で動作
FreeBSD	FreeBSD 環境下で動作
Perl	Perl で記述

4. 1月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/Rotor (ローター)

このウイルスは、拡張子が.exe や.scr のファイルをパソコン内から検索し、発見したファイルに自分自身を追記して感染します。また、パソコン内にバックドアを設定し、外部からのコマンドを待ち受けるようになります。

(2) Perl/Lexac (レザック)

このウイルスは、Perl で記述されたウイルスで、PHPBB のセキュリティホールを悪用して、サーバーに感染を拡大する活動を行います。

感染すると、バックドアを設定し、外部からの不正アクセスを可能にします。

(3) W32/Anzae (アンザエ)

このウイルスは、パソコン内からメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、ウイルス自身を添付したメールを送信する活動を行います。

添付ファイルを開くとメッセージボックスを表示し、その時点でパソコンに感染します。感染すると、パソコン内に自分自身のコピーを作成します。また、レジストリを改変することにより、Windows 起動時にウイルスが実行されるように設定します。

(4) W32/Maslan (マスラン)

このウイルスは、パソコン内からメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、ウイルス自身を添付したメールを送信する活動を行います。

感染すると、特定の Web サイトに対して DoS 攻撃を行います。また、バックドアを設定され、外部からパソコンを悪用される可能性があります。

さらに、セキュリティ対策製品の機能を停止させる活動も行います。

(5) W32/Purol (プロル)

このウイルスは、P2P (Peer to Peer) のファイル共有ソフトを利用して感染を拡大します。感染すると、Windows の起動時にウイルスが実行されるように、レジストリを改変します。

また、特定のサイトに対して DoS 攻撃を行い、ウイルス対策製品の機能を停止する活動も行います。

(6) W32/Stator (ステーター)

このウイルスは、パソコン内からメールアドレスを収集し、取得できたアドレスに対して、ウイルス自身を添付したメールを送信する活動を行います。

感染すると、レジストリを改変され、Windowsの起動時とexeファイルの実行時にウイルスが動作するように設定されます。また、バックドアを設定され、外部からパソコンを悪用される可能性があります。

5. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約94%を占めています。

届出者	届出件数					
	2005年1月		2004年12月(前月)		2004年1月(前年同月)	
一般法人ユーザ	4,566	93.6%	4,348	88.6%	1,103	83.4%
個人ユーザ	250	5.1%	247	5.0%	101	7.6%
教育・研究機関	64	1.3%	310	6.3%	119	9.0%

6. 感染経路別件数

メールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約99%を占めています。

感染経路	届出件数					
	2005年1月		2004年12月(前月)		2004年1月(前年同月)	
メール	4,819	98.7%	4,860	99.1%	1,247	94.3%
外部からの媒体	5	0.1%	11	0.2%	6	0.5%
ダウンロード()	2	0%	2	0%	1	0.1%
ネットワーク	50	1.1%	29	0.6%	58	4.4%
不明・その他	4	0.1%	3	0.1%	11	0.8%

()ホームページからの感染を含む

7. 感染台数

感染台数	届出件数					
	2005年1月		2004年12月(前月)		2004年1月(前年同月)	
0台	4,862	99.6%	4,882	99.5%	1,248	94.3%
1台	14	0.3%	20	0.4%	50	3.8%
2台以上 5台未満	1	0%	2	0%	16	1.2%
5台以上 10台未満	3	0.1%	0	0%	3	0.2%
10台以上 20台未満	0	0%	1	0%	1	0.1%
20台以上 50台未満	0	0%	0	0%	4	0.3%
50台以上	0	0%	0	0%	1	0.1%

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

コンピュータウイルス対策基準

- ・通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

花村 / 加藤 / 内山

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp